森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　平成２６年１月１日発行　通巻第２１４号

森のなかま

２０１４年１月号
ＮＯ．６９（継続２１４号）

ＮＰＯ法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　発行人　久保　重明
〒243－0014　厚木市旭町１丁目８－１４・グリーン会館　ＴＥＬ046－280－4101・ＦＡＸ046－280－4102

“平成２６年度（西暦２０１４年）年頭にあたって”

新年明けましておめでとうございます。

＜　理事長　久保　重明　＞

皆様にはそれぞれよいお正月をお迎えのことと思います。昨年中、多くのボランティア活動を大過なく終えられたことは、活動に参加された方、そしてそれを支えた方、皆様の力が結集した結果であり、感謝の思いでいっぱいです。

昨年のうれしいニュースとしては、11月9日に1年越しで「日本触媒・湯河原万葉の森」の開所式を迎えたことで、日本触媒の池田社長はじめ社員の皆様のご努力と湯河原町、国土緑化推進機構、かながわトラストみどり財団のご支援でこのよき日を迎えられたことです。会の「日本触媒の森事業」に携った方々はこの1年余りの間素晴らしい森になるよう地道な努力を淡々と重ねてまいりました。お疲れ様でした。

箱根　大観山より見る　世界遺産　「富士の山」

もう一つニュースとしては11月30日に13期生として新しい仲間32人を迎えたことで、一昨年9月からの永い研修期間を終え晴れて「神奈川県森林インストラクター」として県知事認証を受けました。おめでとうございます。これからの活躍を期待しております。

我々の活動フィールドである丹沢・大山に目を向けてみると、これから注目していかなければならない幾つかの動きがあります。まずはシカの農作物への食害が全国で83億円に上るとのことで、国としてその対策を迫られております。神奈川県も例外でなく、この面でかなり進んでおり、従来の組猟に加えて高標高に追われたシカの管理捕獲にワイルドライフ・レンジャーを当てる試みが進んでおり、今後の進展が期待されます。また公的支援として手入れの行き届いてない人工林について山林所有者と森林組合等が契約し、森林整備を推し進める長期施業受委託の契約がかなり進んできているとのことで、森林の荒廃を止め健全な森林を作るのに効力を発揮することが期待されます。

一方「水源環境保全・再生かながわ県民会議」は 5 年の区切りで第2期の最後の3年を迎えることになり、山梨県との協働に向け本格的に動き出すと共に、新たに森林生態系効果把握モニタリングも始まることになります。また県民の意見を代弁する立場の公募委員の改選も行われ、次の10年に向かう重要な時期に差し掛かったことになります。昨年7月に入会が認められた「丹沢大山自然再生委員会」は今年6月に役員の改選が行われ、新たに調査事業部会が設けられることになりました。現在、委員会では丹沢大山総合調査（2004～2006）の折に積み残された8つの課題についてミニ総合的な調査の実施について検討され様としています。

以上のような大山・丹沢で活動する我々としてはこれらの動きに注視していきましょう。

最後になりましたが、今年の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

（写真 2013.12.早朝　広報部　鈴木松弘）

森林部会　平成２５年度第５回研修会　　「プロの指導による間伐研修会」

日時:　2013年11月23日(土)　10:00～12:00、 快晴　　場所:　湯河原町鍛冶屋

＜　森林部会長　佐藤　武晴　　5期　＞

今回の研修会は(公財)かながわトラストみどり財団の全面的なご協力をいただき、県民参加の森林づくりと同じ環境の下で、湯河原のプロ“巻上浩昭”氏を講師にお招きして実施しました。

場所は11月９日に開所式の行われた「日本触媒・湯河原万葉の森」で、現地への往復はこの日行われた「県民参加の森林づくり」活動の一般参加の人達と一緒の行動です。とは言え、バスを降り、道具の配分が出来た時点で一足早く研修地の稜線に向かい研修中は全くの別行動です。

オリエンテーション

研修地の傾斜はやや緩やかだが、32年生ヒノキはどれも掛り木になりそうで選木に思案する。講師からは木材生産を目指す健全な森林づくりを前提とした選木の指導があり「倒しやすいものを‥」との甘さに先ず釘を刺される。掛り木をいかに避けるか、掛り木をどのように処理するか、今日の研修課題にあらためて身構えして作業にかかる。

講師の　巻上浩昭　氏

受け口は、ノコのハンドリングは･･･

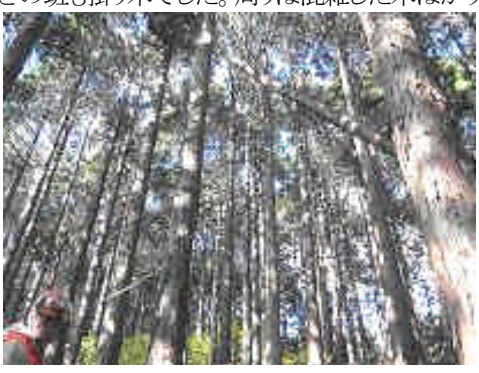
掛り木のフェリングレバーによる処理

作業は「受け口が出来たら待て」といった具合に適宜、講師の指導を受けながらの進捗で、若干待ち時間が多く感じられたが、一人で複数班を見廻るとなればしかたないことで講師自身が最も気にされていたと思われる。

伐倒方向を定めたら正確に受け口を作ること、追い口を切る時は”ツル”を十分に残すことなど基本の大切さを指導される。掛り木処理では、フェリングレバーを使って回転させて掛っている状態を外すこと、ロープを使って引き倒すことを再確認したが、ロープは掛り木を外すに最も有効な方向に引くよう、引き手の位置を工夫することが大事なことと感じられた。

最後に「先ずは安全第一」との講評を受け、短い時間であったが掛り木処理の研修会を終了し、広場に戻り一般参加の人達と合流した。木材生産を目指す森での作業に携わるプロの立木に対する接し方の細やかさは、私達の活動の場でも見習うべきではないでしょうか。

どの班も掛り木でした。周りは混雑した木ばかり



一般参加の人達と合流し昼食

(写真:　佐藤武晴　氏　5期、　広報部　松本)

自然観察部会　第７６回森林探訪　津久井城山「　紅葉の水源林を津久井に訪ねて　」

日時:　11月30日(土)　9:00～15:00、 快晴

＜　自然観察部会　赤崎　さほり　11期　＞

本番当日が晴れますように。欲を言えば、紅葉が見ごろでありますように･･･と、飯縄神社に願いながらの準備や下見を何度も重ねて、時には作成したテキストに鋭いご意見をいただき、参加に応募される方が少ないため初めて「かながわしずくちゃん」に広告をお願いし、あちこち奔走してなんとか、たくさんの方のご協力のお蔭で、開催することができました。

観光センター前でオリエンテーション

さて当日、願いが届いたのか、天気は快晴、参加者も60名近く集まりました。オリエンテーリング後、晩秋の透き通った青空の下、準備体操をし、城山を歩き始めました。歩き始めるとすぐに「江川のヒノキ林」、樹齢120年ほどです。橋本駅からバスで30分程度の場所ですが、こんなに素晴らしい巨木林を観察できました。他にも、フジキやムクロジ、ホオノキ、ケヤキの巨木も観察できました。その林内の道に黄葉したカエデのなかまの落葉がたくさん見つかりました。落葉で彩られた、踏み心地のよい登り坂を登りきると、そこには今年の夏に落雷で焼け落ちてしまった「大杉」が目に入ってきました。これには皆が、大変驚き、自然の力に圧倒されていました。

江川のヒノキ林

無残な900年の大杉

その後、少し尾根沿いに進み、津久井城跡のある、城山山頂にて紅葉のモミジと景色を楽しみながら昼食となりました。

午後は多少長いルートになりましたが、全体的に傾斜が緩やかでゆっくり自然観察をしながら散策できることをテーマに選びました。面白い形状の花として、カンアオイをたくさん見つけることができました。また、フユイチゴの赤、ジャノヒゲの藍色が散策路で目を引かれました。

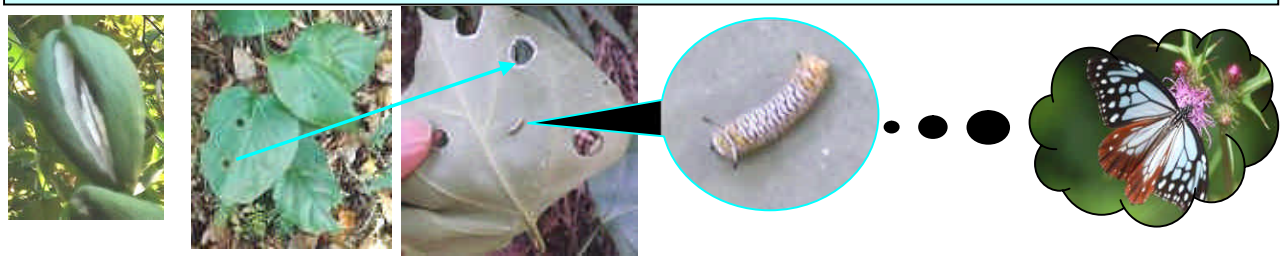
津久井城址の城山山頂で昼食

今回一番、皆様に紹介できてよかったと思っているのが、キジョランと、その葉裏に見つかることのあるアサギマダラの幼虫です。卵を発見することもできました。アサギマダラは旅をするチョウとして有名ですが、まだまだ分からないことが沢山あり、研究が続けられています。キジョランはそのアサギマダラの代表的な食草で、常緑のつる植物です。幼虫の食痕が特徴的なので観察が初めての方でも見つけやすかったのではないでしょうか。

左より　カンアオイ、　フユイチゴ、　ジャノヒゲ

最後はどなたも怪我や事故、無事に帰路に就くことができました。改めて、かながわの自然の多様性に驚かされるとともに、晩秋の紅葉を満喫できた１日でした。

キジョランの実　と　食痕のある葉(表)　と　葉(裏)　　アサギマダラ　幼虫　　やがて綺麗な蝶に(参考)



(写真:　蝶(参考)箱根にて　村井正孝氏　9期、　広報部　松本)

私の認識

野鳥その１１７　　高橋　恒通

今月はガンカモ科の中で“アイサ類”と呼ばれる3種の野鳥をご案内致します。

一番目は、冬鳥なれど北海道北部で夏鳥のミコアイサ（漢和名：神子秋沙、英名：Smew、体長 L＝42 ㎝）です。

成鳥♂の体色は、別名“パンダガモ”と呼ばれる通り、頭部、首、胸前が白色で目の周囲と後頸の一部、そして背から腰が黒色です。従って正面からはパンダの様に見えます。嘴は鉛色、脇腹は白と黒褐色の波状斑があり、その前側に2本の黒色の線が目立ちます。

成鳥♀は、前頸、後頭、後頸が茶色、喉下が白色、そして背面、側面がほゞ黒褐色で地味な体色です。尚、♂♀共に短い冠羽があり、特に♂は、パンダをイメージさせる体色模様と併せて、愛くるしさを一段と増幅しているものと私は認識しております。

棲息環境は、池、湖沼、河川、河口や入り江などですが、私が初めて観察したのが十数年前に大井の東京港野鳥公園でした。神奈川県下では、やはり10年位前に酒匂川下流域で、そして最近では2012年1月に相模原貯水池です。但し、県下では何故かいつも成鳥♂が1羽のみでした。

ミコサイアは、日本野鳥の会が毎年行っているガンカモ調査でも当県下では観測例の非常に少ない種に入ります。その希少性と姿の可憐さから当県のバーダーにはオシドリよりも好まれる存在だろうと私は推察しています。

行動様式は小さな群で割合活発に動き廻るタイプで、潜水して魚や甲殻類などを採食します。「パンダガモ」と異名で呼ばれるミコアイサは一度会えば忘れられない野鳥です。

アイサ類2番手は、冬鳥で北海道東部と北部では留鳥のカワアイサ（漢和名：川秋沙、英名：Goosander、体長 L＝65 ㎝）です。

大形のカモで成鳥♂の体色は、頭部全体と喉下、後頸と背面が黒色で胸前、脇腹が白色、尾の方が灰色です。但し、頭部の黒色は光線の角度で緑色の金属光沢を発します。

嘴は赤色ですが、先端のみが黒色で猛禽類の如く鉤状です。そして嘴の縁にはギザギザがあります。これが潜水して捕まえた魚を逃がさない為の進化の形だと私は認識しております。

成鳥♀は、嘴が赤く、頭部が茶色、首から胸前が灰白色、背面全体が灰色です。そして後頭部には茶色の短い冠羽があります。

棲息環境は港、海岸、内湾、河口、湖沼などですが、私が毎年酒匂川で観察できたのは上流域、中流域、下流域でも意外に水深があって流れの速い場所でした。

また、その数でも1羽が居ても数羽の小群でしたが、大形のカモなのでよく目立ちました。私の独断ですが、カワアイサの観察を望む方には冬の酒匂川の中～上流域がお薦めです。特に十文字橋の少し上流で私は最も数多く観て来ていますが、大きな台風が来たりすると流れの筋が変わり、彼等の居場所も大きく変化する事を忘れない様にして下さい。

アイサ類の3番手は冬鳥のウミアイサ（漢和名：海秋沙、英名：Red-breasted Merganser、体長 L＝55 ㎝）です。成鳥♂♀共に小形のカワアイサの体色と思って頂いて結構ですが、♂の後頭部にはボサボサの冠羽があり、胸の暗褐色斑でカワアイサとの識別ができます。棲息環境は海上、内湾、河口などです。但し、こゝ数年私は観ておりません。

〈参考資料〉
◎日本の野鳥，山渓ハンディ図鑑 7，写真・解説／叶内拓哉，分布図・解説協力／安部直哉，解説（鳴声）／上田秀雄，山と渓谷社
◎かながわの鳥図鑑，編集／日本野鳥の会神奈川支部，発行／第46回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」神奈川県実行委員会
◎フィールドガイド日本の野鳥，野鳥ブックス②，高野伸二著，（財）日本野鳥の会
◎　（イラスト）広報　大塚 晴子

『　街頭キャンペーン川崎　（第３５回かわさき市民祭り）　』

日時:11月2、3、4　日（土、日、月）、開催時間帯:10:00～16:30、
場所:川崎市川崎区富士見（富士見公園内）

＜　普及啓発部会長　足立　功　4期　、大塚晴子　11期　＞

平成25年度のかわさき市民祭りが昨年と同じ川崎区富士見公園一帯で開催されました。

・1日目は昼過ぎが大繁盛で、午後は小雨のため祭自体の客が少なくなり、参加者はカッパや傘を手に、丸太切りとクラフトを楽しみました。一日安全に楽しく活動できました。

参加者:大人115名、子供129名、計244名　　（参考:インストラクター15名、財団１名）

・2日目は天候にも恵まれて、たくさんの親子連れが紙芝居や丸太切りとクラフトを楽しみました。中には参加2～3年目という工作ファン（リピーター）までいて、大盛況でした。

参加者:大人168名、子供263名、計431名　　（参考:インストラクター15名、財団１名）

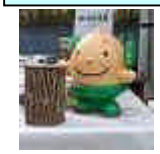
・3日目は前夜から雨、午前中も小雨で、人出は今一つ。昼過ぎには一時強く降る状況もあり、残念ながら参加者が3日間合計で千人という期待は、実現できませんでした。

参加者:大人185名、子供110名、計295名　　（参考:インストラクター14名、財団１名）

・参加者　3日間合計　970名　（大人468名、子供502名）

会場準備中

緑の募金キャラクター
“どんぐりくん”



受付とガラポン

皆様、お寄りください！！

紙芝居と涵養実験

間伐疑似体験（丸太切り）

丸太切りで作った台座でドングリクラフト

完成したドングリクラフト　どうこの出来

（写真:　広報部　松本）

緑の募金

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

活動短信

今回の掲載は
平成25年10月21日～
11月19日です。
投稿頂いた中には、紙面の都合上、次号以降の掲載になるものもあります。
予めご了承下さい。

◆ 横浜市立希望ヶ丘小学校
自然観察・高取山登山

日　10月21日（月）10:00～14:40、曇り
場　愛川ふれあいの村～高取山
参　小学5年生84名、教師等11名
イ　Ｌ内野⑨、高崎④、安部⑤、小野⑦、白畑⑦、武者⑦、松本⑪、永松⑫、加藤（久）⑫

インストラクターによる集合ミーティングを行い、登山の注意事項（内野リーダーが当日再下見6:45AM出発、戻りでの登山道の前日雨の状況説明他）、時間配分、山頂での行事と滞頂時間等の情報共有を完了させ小学生の到着を待ちました。到着後、入村・入山式と一連のセレモニーを済ませ各班に分かれて出発となりました。

自然観察では、臭気が強い銀杏、ドングリの採集、森林形態（立地看板を利用）、ボタン岩と海、その他も説明いたしました。登山では、ヤマビルの出迎え、他小学校との登山渋滞、展望台が見えた際には元気な足取りになりました。下見の際は、ランドマークタワー、東京スカイツリー、都庁とあの辺であろう希望ヶ丘小学校も見えましたが、残念ながら本番では隠れていました。昼食、展望台からの見学（宮ヶ瀬湖のながめには喚声）、組集合写真を撮り、下山では、学校の教育目標「笑顔いっぱいの希望ヶ丘」のごとく笑いもありながら慎重に下りました。最後に、小学生代表のお礼のことばは「知らないことを教えてもらい、安全にサポートしていただきありがとうございます」で下山式を終了しました。そして、インストラクターは解散ミーティングを実施し一日を振り返り解散となりました。

追）後日に生徒諸君より各インストラクター各人へグループ毎のお礼のお手紙を頂きました。インストラクター達は大感激でした。

（記　加藤　久雄　12 期）

◆ 横浜市立山下みどり台小学校
自然観察とホタル観察

日　10月23日（水）9:15～9:45、晴れ
場　横浜自然観察の森　平家ボタルの湿地
参　小学4年生2クラス77名、教師6名
イ　Ｌ海野⑩

テーマ：　校地内にあるビオトープと平家ボタルの湿地の環境を比べ、ホタルにとって好ましい環境・環境づくりを考え、ビオトープにホタルが定着するための環境づくりについて学習する。

活動内容：　ホタルについて（日本のホタルと世界のホタル）、ホタルの生活サイクル（一生）、ホタルにとって好ましい環境、環境づくり、ホタルが好む餌、餌が繁殖する条件、ホタルが光わけ、源氏ボタルと平家ボタルの違い、ホタルの野外飼育（ビオトープ）について、カワニナに飼育（繁殖）について、自然環境の保護について。

台風による天候の悪化が心配されたが杞憂に終わり、短時間であったが予定どおりに実施した。生徒達は学校のビオトープでホタルを飼育しており感心が高く、私語もなく真剣に話を聞いてくれた。自然環境でのホタルの生活をビオトープでの飼育を比べる事で、ビオトープでのホタルの定着について学習できたと思います。

（記　海野　充弘　10期）

◆ 横浜市立一本松小学校
足柄宿泊体験学習

日　10月24日（木）9:30～14:30、曇り時々小雨
場　足柄ふれあいの村
参　小学5年生46名、教師８名、カメラマン1名
イ　Ｌ村井⑨、松本⑧、小沢⑨、中村⑪

2泊3日の体験学習の最終日。足柄峠への登山の予定であったが、あいにくの天気で雨バージョンに変更。生徒達が宿泊している足柄ふれあいの村にインストラクター4人が定刻前に到着し、担当先生とミーティングし、まだ雨も降っていないので、ふれあいの村内を散策・自然観察をすることにした。

全体ミーティング後、4班に分かれ、ストレッチをして出発した。スギとヒノキ、森林の働き、健全な森林を守るには、秋の種の散布等の話を織り交ぜ自然観

察をした。時間の余裕もあり、どんぐりの採取、特に大きなクヌギのどんぐりが好まれた。昼食後、マイ箸づくりをした。ナイフで思うように切れなかったりで、苦労したようだが、何とか皆さん、1時間で作り上げていた。2種のお土産を持って、満足そうであった。怪我も事故もなく、無事終了した。

（記　中村　公也　11期）

◆ 相模原市立当麻田小学校

森林の間伐体験

日　10月31日(木)10:00～14:30、晴れ

場　相模原市　緑区澤井

（ふじの体験の森やませみ）　大日野原山林

参　小学5年生79名、教師５名、カメラマン1名

財　古館様

イ　Ｌ有坂⑧、佐藤⑤、伊藤⑦、小野⑦、塩谷⑦
武者⑦、小沢⑨、松山⑩、西出⑫

快晴の朝。9時45分児童を乗せたバスが到着。10時15分より始めの会、道具を配布。10時45分“やませみ”発、11時10分大日野原山林着。全体説明の後、班毎に間伐体験、昼食を挟んで約2時間。　先ず、間伐の意義、鋸の持ち方など事前説明を行って、伐木、枝払い、玉切り、土産(コースターなど)づくり、締めくくりに森林のはたらきなどを解説した。帰りに1．5mに切った材を広場まで担ぎ出し、トラックに載せて13時30分間伐作業終了。14時“やませみ”着、班毎にグループミーティングで森林講話、質問等。14時30分まとめの会を以って終わり。直後、児童たちは夕食のカレーづくりに向った。

（記　松山　隆治　10期）

人も自然もいきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む

丹沢大山自然再生委員会ホームページでご覧ください。　http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 横浜市立綱島東小学校

愛川体験学習

日　11月4日(月)12:30～16:00、雨のち雲

場　愛川ふれあいの村

参　生徒99名、教師9名

イ　Ｌ村井⑨、高橋③、高崎④、渡部⑦、小沢⑨、
中村⑪、大塚⑪、永松⑫、西出⑫

小雨のため高取山の登山は中止となりました。集会場で自己紹介とリーダーより種の話を聞きました。その後外に出て、班ごとに1時間ほど「木ラリー」をして、植物を学びながら村内を周りました。私の班ではオニグルミやクヌギ・メタセコイヤの実を拾いました。

15時から木のスプーン作りは、桜の小枝を小刀とヤスリで加工しました。ケガもなく、銘々よい作品に仕上がりました。半日を通して、登山を楽しみにしていた児童もいましたが、散策で色々な自然に触れられ、楽しい体験学習となりました。

（記　大塚　晴子　11 期）

◆ 横浜市立浅間台小学校

愛川宿泊体験学習の1日目　間伐体験

日　11月4日(月)10:30～12:30、曇り時々小雨

場　相模原市長竹　県継承林

参　小学5年生34名、教師4名

財　古舘様

イ　Ｌ小野⑦、佐藤⑤、武者⑦

愛川宿泊体験学習の一環として長竹にて間伐作業を実施した。前夜の予報が午前中降雨との事で学校・財団と電話協議の結果、財団と我々が早めに現地入りし林内の状況を調査し判断する事とした。

未明からの雨も8時過ぎには止み林内の諸条件も作業を阻害するような悪条件では無い事を確認しバス移動中の学校側へ現地入りを要請。この際、危険防止と伐倒木からの雫(しずく)避けの為、「伐倒済の材への足掛け禁止・カッパ着用」を徹底した。当日は現地滞在時間が短い為、昼食はふれあいの村着後とし12時30分にはバス出発と慌しいスケジュールの中で選木からコースター作りと道具清掃までを予定時間内に無事終了した。このことは学校、財団、担当インストラクター各位のご協力の賜物であり感謝申し上げます。

（記　小野　幸広　7 期）

◆ 横浜市立浅間台小学校
愛川宿泊体験学習の2日目　自然観察（登山）

日　11月5日（火）9:00～16:00、快晴
場　高取山
参　小学4･5年生74名、教師と補助　9名
イ　L武者⑦、高崎④、渡部⑦、小沢⑨、村井⑨、中村⑪、西出⑫

前日の一日中の雨天とは打って変わりの快晴。宿泊体験学習2泊3日の2日目。もってこいの天気に恵まれ高取山の登山を行った。生徒主催の始まり会から始まり、準備体操、登山の注意事項まで生徒からの発表等があり、感心した。森林インストラクターのすることまでやって貰った感じだ。人数にバラツキが有ったが、7グループに別れ、出発した。再度森林インストラクターから各グループ毎に注意事項を示し、出発。

スギとヒノキ、ホウノキ、トチノキ、年輪、たまねぎ状石、咲いている花等説明しながら、頂上へ。全員12時までには、到着し、昼食を摂った。頂上の景色、美味しい空気を楽しんだ後、下山した。前日の雨のため、滑りやすい所も多く、苦労しながら、下山した。下山後時間的余裕もあり、グループ毎に散策、木ラリー、遊び等楽しんで、終わり会に入った。これも生徒主催で整理体操、登山の感想等立派なものであった。自然のすばらしさ、全員で登山し得た満足感が述べられた。

今回の登山は時間的余裕があり、生徒･先生も森林インストラクターも楽しく、登山を堪能出来た。怪我も事故もなく、無事終了し、満足のできる活動であった。

（記　中村　公也　11期）

◆ 神奈川トヨタ　第28回プリウス森木会
間伐とリース作り･癒し体験

日　11月9日（土）10:00～15:30、曇り
場　やどりき水源林
参　プリウス森木会様24名（大人17名、子供7名）
県　齋藤課長、増田様
スタッフ　神奈川トヨタ様（黒澤室長、佐藤係長他7名）
イ　L福島⑪、菊地①、佐藤⑤、森本⑤、高崎④、若林⑦、有坂⑧、山下⑪

水源林でのパートナー林活動、今回は参加者の皆さんをA，Bに分け、A班は午前中にシカ講話と間伐体験、午後はリース作りと癒し体験、B班はこの逆の順序で、盛り沢山の活動を楽しんでいただいた。

翌日にも同じ内容で計画されていたが雨天のため24日に延期となった。ここでは間伐体験班について報告します。

A班は2グループ、有坂、佐藤でそれぞれの班を担当、最初にBコース入口付近で県/齋藤課長からシカ講話、森林づくりにとってシカの生息が大きな問題になっていること、シカの生態やシカによる食害、シカ対策と共生のための取り組みなど、センサーカメラの写真を合わせてのお話しの後に防護ネットやシカの痕跡などを見ながら間伐現場へ向かいました。

間伐は小学生の参加者にも鋸を体験してもらい、追い口を切り終えた後、全員でロープを引いて木を倒し、その後おみやげにコースターを作って持ち帰ってもらいました。皆さん楽しかったと満足気でした。昼食時のシカシチュウも好評でした。B班は 1 グループ、活動内容はA班と同じ、プリウス森木会の森での記念撮影には沢山の笑顔が見られました。

（記　佐藤　武晴　5期）

◆ 県民参加の森林づくり（間伐）

日　11月9日（土）8:30～13:50、曇り一時小雨、
場　真鶴町岩（真鶴町県行政林）
参　55名（男性47名　女性8名）（申込者60名）
財　鳥海様、籾山様、　看　田島様
用具配備　小田原市森林組合員
イ　L松本⑪、佐藤①、友谷①、鈴木友二③、杉戸⑥、山崎⑦、鈴木昭次⑦、小野⑦、辻村⑨、鈴木朗⑨、水口⑨、上田⑩、後藤⑩、川森⑪、西出⑫、渡辺敏幸⑫

前日とは異なり肌寒い気温でした。真鶴駅に集合も、中に湯河原まで乗り過ごしてしまった参加者がいましたが、当日は湯河原でも日本触媒の森の開所式で駅に財団の方がいてフォロー連絡があり事なきを得ました。車混雑もなく予定より早く9:15に現地到着しました。今回の KY（危険予知）は慣れによる事故、間伐では協働の大切な事を強調しました。12

期渡辺さんによるストレッチ体操を行ない、道具、ヘルメット等装着等を今年は駐車場で行ないました。昨年は現場近くで行ない狭く不評だったので、広い駐車場としました。

5班編成で作業場に向かいました。対象間伐木はヒノキの29年生で成長が悪くその分硬い木質でした。今回は参加者が少なく各班10～12名／班（3～4人／1インストラクター）で6本／班⇒全体で30本の間伐目標でしたが、いつも参加されている方が多く倍の60本と多くの間伐ができました。11:40に作業終了。

食事の後12:30 よりのミニ講話はかながわの森林と水の関係について水源系統を中心に行ないました。バスでの帰路は駅まで遠いのと適度の作業疲れで心地よく眠っている人が多くいました。

（記　松本　保　11期）

◆ 相模原市立青葉小学校

間伐体験

日　11月15日（金）8:45～13:00、曇り後小雨
場　ふじの体験の森
　やませみ・大日野原地区人工林
参　小学5年生67名　教師等5名
財　古館様
スタッフ　やませみ職員　山内様、下園様　看　1名
イ　L塩谷⑦、齋藤⑥、有坂⑧、内野⑨
　松山⑩、加藤（久）⑫、門澤⑫

冬を感じる寒い七五三の朝、気温 7 度、昼からの雨の予報を気にしながら子供達の集合を待つ。8時45分、前日の陣馬山へ5時間かけ登山しやませみに宿泊した生徒達67名が元気よく広場に姿を現わす。

挨拶、説明を済ませ7つ道具を持ち9時に間伐現場へと出発。20分かけて現場に着くと、もう樵（きこり）気分になった生徒も。枝打ちノコを鞘から取り出し切る真似を。はやる気分を抑えてもらい、森のはたらき、間伐の目的、伐倒の仕方等の話を一通りし、いざ作業へ。

ノコの使い方を簡単に思っていた生徒も多く、ノコを真直ぐに引けず難渋、甘く見ていたようだ。平均すると女子の方が、やさしく、丁寧に上手に引いていた感じ。伐倒時のロープ引きは、皆で力を合わせ引き倒し、倒れた瞬間、大歓声。玉切りした材から自分なりのコースター作りを。ノコに慣れたと思ったけれど、やはり思うように引けず、材の半分程度に筋目を入れてあげると何とか切り落とし、気分よく持ち帰る。

（記　門澤　勇　12期）

◆ 川崎市立宮崎小学校

総合的な学習の時間～やどりき水源林を知ろう～

日　11月15日（金）10:00～12:30、曇り後雨
場　やどりき水源林
参　小学5年生6クラス195名、教師10名
イ　L小林⑨、井出①、高崎④、小野⑦、白畑⑦、
　武者⑦、渡部⑦、阿部⑧、黒澤⑧、小沢⑨、
　村井⑨、小林⑩、杉崎⑩

台風26号の被害により当初予定したコースを変更し安全な3コースを設定、13班に分かれ水源林の中を歩きながら1．森林を守るための工夫と努力2．森林の働きについて学習を行った。

予報通り初めの会が終了して間もなく雨模様となり雨脚が強まったため散策学習を正午で切上げ、その後全員をゲート前のバスへ案内し、バス毎に締めくくりを行い、汗冷えなどで風邪を引かないことを願いながら12時30分バスを見送り解散となった。

午後の予定は中止となったが、各インストラクターの工夫により短時間ではあったが学習の目的は十分果たせたと思う。また、悪天候にも関わらずヒヤリハット無で実施できたことが一番の収穫かと思う。

（記　小林　保喜　9期）

◆ 日本石油輸送株式会社

竹林整備

日　11月16日（土）9:30～12:30、晴れ
場　県立21世紀の森・マダケ展示林
参　社員とその家族、11名（大人9名、子供2名）
イ　L阿部⑧、草野⑧

心配されたお天気も雲ひとつなく晴れ渡り、穏やかな暖かい絶好の活動日和に恵まれた。
参加者は「21世紀の森」への途中、塚原フイールド視察のため、予定時刻に少し遅れてマイクロバスで

到着。直ちに身支度の後、インストラクター・リーダー挨拶・紹介、竹林の話と今日の予定について説明。ストレッチをした後現地へ徒歩で出発。

マダケ展示林の現地に到着したあと、作業手順・注意事項について説明し活動開始。

全く手入れしたこともないような荒れ果てた竹林で、薄暗い林内は枯れた竹が傾き参加者の溜め息が聞こえるような状況であった。しかし、若い人中心のため、短時間の作業にも拘らず、順調に進み作業現場は明るく見違えるような林内になった。また、参加者も適当な汗をかき、心地よい楽しい活動となった。その間、子供達は木材工芸センターで付き添いスタッフと一緒に工作をしていたが、作業終了した大人達と合流。

最後に参加者全員で、珍しいムクロジの種を見ながら羽子板・石鹸の話などを聞いた後、次の予定のアサヒビール工場見学へと向かった。

（記　草野　弘　8期）

◆ 伯東株式会社

森づくり　枝打ち・自然観察

日　11月16日（土）
場　南足柄市塚原　塚原ボランティアフィールド
参　伯東グループ　10名（大人）
イ　Ｌ小野⑦

当グループとしての森林整備活動第4回目として当場所にてヒノキの枝打ちを実施した。当初20人（うち子供4名）の予定が、実際は大人のみ10人と半減し子供が不参加で少々寂しい。スタートになった。

当地は平成14年度植樹のヒノキ林だが、地際まで枝が繁茂しており林内の移動にも苦労した。

前日の雨により草地の雨滴が多いので参加者の到着に先立って進入路の草刈を実施。定刻になり枝打ちの説明（枝隆上で切断など）その他の注意事項を徹底の後、3班に分かれて作業を開始、参加者は枝打ち後の林内の明るさに達成感を味わいながら正午前に作業を終了し昼食。

講話は｛農林業への獣害（特に鹿害）｝について数字を交えて説明し質疑と意見交換を行った。
初めて体験する枝打ちは実施後の明るさに感動し来年度以降は間伐も含めて参加者を増やしての再チャレンジを約して解散となった。

（記　小野　幸広　7期）

◆ 日揮株式会社

・午前中　癒し体験、リース材料採取
・午後　　リース作り

日　11月17日（日）10:00～15:00、晴れ
場　やどりき水源林
参　社員とその家族　20名（大人14名、子供6名）
イ　L若林⑦、菊地①、森本⑤

紅葉が始まりだした水源林でのパートナー活動。快晴で暖かくハンモック、せせらぎヒヤリング、リース作り、と楽しんでいただきました。最近は、人気があがり定員オーバーで締め切ったということでした。参加者は、リラックスできたと笑顔で帰宅されました。

（記　菊地　昭子　1期）

◆ 槐の会（鶴岡八幡宮）

森林癒し体験+自然観察と森林保全活動

日　11月17日（日）10:00～15:00、晴れ
場　やどりき水源林
参　槐の会　57名
スタッフ　槐の会事務局　6名
県　後藤様、増田様
イ　Ｌ草野⑧、高崎④、谷津⑦、有坂⑧、
時田⑩、宮下⑩、青木⑩、山下⑪、福島⑪、
吉田⑪、東⑫、安井⑫

心配された天気も快晴に恵まれ、秋らしい爽やかな活動日和となりました。参加者はバス、乗用車などで予定通り現地に入りました。関係者の挨拶の後、ご年配の方々に配慮したストレッチ（山下さん考案）で心身をほぐし、10 時 30 分に予定通り活動開始。
（午前）延寿の森で３班に分かれ作業を行いました。
①間伐班は、担当インストラクターによる目的・方法などの説明後、間伐が行われました。
②経路補修班は、傾斜地の経路補修に杭を使用し整備を行いました。
③林内整備班は、お社周辺の清掃作業を行いました。いずれも、作業前と作業後の変化に充実感と達成感を味わって頂きました。
（午後）森林癒し班とBコース周遊班に分かれての活

動となりました。
①森林癒し体験
癒しの森ではハンモックとせせらぎの音を体感。延寿の森では、樹幹のゆらぎに加え間伐木の年輪に触れ、知識だけではなく等間隔でない年輪の美しさも感じ取って頂きました。
②Bコース周遊
通常のBコース周遊の他、間伐木の切り株を利用した「年輪の観察」を加え森林の手入れなどの必要性に触れ、楽しい散策をして頂きました。
リピーターの方も多い中、新たなプログラムを加え参加者からは感謝の声を頂きました。尚、心配された事故もなく無事に活動を終えることができました。

（記　安井　健人　12 期）

◆ 横浜市立平沼小学校
間伐体験

日　11月18日（月）　10:30～14:30、晴れ
場　長竹分収林
参　生徒　99名、教師　8名
イ　Ｌ松山⑩、斎藤⑥、伊藤⑦、小野⑦、渡部⑦、阿部⑧、鈴木⑧、海野⑩、西出⑫

森林学習や森林作りの体験活動の一環としての間伐体験。当日は小春日和を思わせる秋の快晴に恵まれた。
生徒99名は9班に分かれ、インストラクターの指導の下、ヒノキの16年生の間伐・枝払い・玉切りを行い、コースター作りを行った。鋸の使用は初めてという子もいたが、コースター作りの頃には慣れてきて、家族の分まで熱心に作っていた。上手く切れない子を他の子が手助けたり、切る木が動かないように他の子たちが押さえていたりと協力しあう活動風景が見られた。実際に森に入って活動することにより、森林の働きの大切さや手入れ作業の大変さを実感してもらえたと思う。

（記　阿部　純一　8期）

◆ 横浜トヨペット株式会社労働組合
“そよ風の森“ 間伐・自然観察体験

日　11 月19日（火）10:15～12:20、快晴
場　やどりき水源の森
参　組合員　13名（内女性3名）
県　後藤様
イ　Ｌ小沢⑨、小野⑦、中村⑪

少し肌寒い風が吹いていたが、快晴の間伐日和。今回は下見をしてないので、インストラクター3人で先に現地に行き、選木を行った。10時15分に皆様集合。総勢13名。始まりの会後、ストレッチ体操をし、保護具・用具を揃え、注意事項を話し、現地に向かった。3班に分かれ、間伐作業に入った。わが班は4名中3人が間伐未経験であったのでマニュアルを配り、その目的、伐倒方向、間伐の仕方を確認し、間伐に入った。確認のとき、間伐は危険作業であることを十分に説明したせいか、慎重に作業した。30分でスムーズに伐倒し、音を立てて倒れた。音と玉切材の重さに、改めて危険性が納得されたようであった。皆さん、間伐を満喫された様子であった。怪我・事故もヒヤリハットもなく、12時過ぎにすべて、無事終了した。

（記　中村　公也　11期）

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html

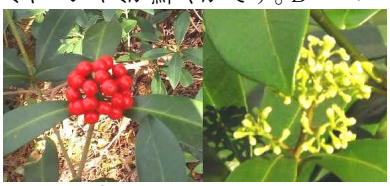
投稿概略フォーマットと略語の説明

日：日付（できれば時間と天気も）
場：場所
参：参加者
県：（神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課）
財：（(公財)かながわトラストみどり財団）　看：看護師
ｽﾀｯﾌ　例　小田原市森林組合・ＸＸ様
　　例　川崎市公園緑地協会・ＸＸ様
イ：インストラクター（〇数字：期）　研：研修枠
（以下本文を概ね400字を目安として執筆ください）

やどりき水源林 ミニガイド

12月のトピックス

ミヤマシキミが鮮やかです。Bコース



♀　　♂

1月の水源林

厳しい冬です。氷柱が見られます。雪の日は動物の足跡も見られるかも。

「森の案内人」情報

（12月　1月　2月　は休止です）
（来春のお越しをお待ちしています）
来春より
●実施時間：毎週土曜・日曜・
午前 10 時・午後 1 時，1～2 時間程度
●集　合：水源林入口ゲート前
●内　容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
＊10 人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
●問合せ：(公財)かながわトラスト
みどり財団　TEL：045－412－2255
携帯：090-8580-5348
FAX：045－412－2300
● ホームページ：http//www.ktm.or.jp
● E-mal:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄（やどりき）」行き乗車約 25 分。バス下車後（案内板あり）川沿いに徒歩 35 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 ＆ ご案内

松田町延命寺観音例祭　1月18日

延命寺の縁日である1月18日は「大祈祷法要」が執り行われます。年初に迎える特別な縁日であるため、近隣にある曹洞宗の寺院より 20 人ほどの住職が集い、法要と開運厄除けの祈祷が盛大に営まれます。この日は町の内外からも大勢の参拝者が延命寺を訪れ、一年の無病息災と家内安全を祈願します。「新松田駅」徒歩3分

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

＜広報全般についてのお問い合わせ＞
松本　保
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp
Tel：090－7962－3168

＜電子配信担当＞　赤崎　さほり
〒221-0865
横浜市神奈川区片倉 2-1-50
Tel：090-6150－6173
Mail：s_akasaki-k_instructor@live.jp

＜メール・手書き原稿送り先＞
【本誌】松本　保
〒246-0037
横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax：045-301-9401
電話連絡先：090－7962－3168
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp
【別冊】水口　俊則
〒250－0871
小田原市下堀 123
Tel/Fax：0465－42－7240
Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp
【CC で】竹島　明
〒238－0045
横須賀市東逸見町 3-7
Tel/Fax：046－825－9281
Mail：2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp
原稿は随時受け付けています。

お詫びと訂正 12 月号で間違いがありました。
・5 ㌻の本の紹介者苗字が間違っていました。
（誤）渡辺 公 ⇒（正）渡部 公 様です。
・2 ㌻の写真が左右入れ変わっていました。
林道入口ゲート と しとどの窟 です。

編集後記

★毎年の事ながら、正月用の富士の写真を撮るのはタイミングが難しい。天候予測晴れなるも富士山は独立峰、すかっと姿見せず。寒風の中4時半頃から三脚でカメラ設定、撮れたときの感動は嬉しい。来る年も良い年で有るよう世界遺産“富士山”に祈る。　（松風舎）

★今年の年末年始は 9 連休。片付けや掃除、やり残し案件をきちんと済ませよいスタートにしたいです。
（赤崎）

★2013 年は、自然観察＆クラフトづくりの勉強をがんばりました。うちには木の実が沢山あるので、冬の間に、色々なクラフトに加工するのが楽しみです♪
（大塚）

★今年は馬のように軽やかでスマートに頑張れればいいな！　（水口）

★26 年度も色々な多くの仲間（歌、山、散歩、豪州、自治会、それと家族）と接し愉しい時間をエンジョイしたいものだ！！　（小沢）

★冬を二十四節気で表現すると
立冬、小雪、大雪、冬至、小寒、大寒
（19～24 節気）です（11/7～2/3 頃）。
いずれにしても今日この頃は寒（かん）じます。　（松本）

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。
（頒　価　200円　送料共）

編集人：　松本　保
事務局：　竹島　明
広報部：　小沢章男　水口俊則
鈴木　朗　鈴木松弘
大塚晴子　加藤暖子　赤崎さほり
支援
伊藤恭造　川森健司　谷川　克
一時休み　真貝　勝　徳岡達郎

謹　賀　新　年

本年も御寄りください。
よろしくお願いいたします。

山 麓 の オ ア シ ス ㉖

こ　ま　ち

小田急　新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店